



広報

# かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話☎2111 内線240

\*\*\*\*\*

## あけまして おめでとうございます

非常口



1998  
1

No.381

1月11日  
金木子ども会  
百人一首大会より

# 新年明けまして おめでとうございます

謹んで新年の御祝いを申し上げます。  
 綻が相次ぐなど、深刻な不況に陥っております。

町民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、町行政に対する深い御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本の経済は消費税の引き上げを皮切りに景気が冷え込み、金融機関の経営破

綻が相次ぐなど、深刻な不況に陥っております。

金木町においても、若年人口の減少や高齢者人口の増大等過疎化が進む中で、近年の稲作の不振により農業離れが進み、商工業についても景気低迷による企業体質が弱体化し、また、交通体系の発達により大型ショッピングセンターへ購買客が流出するなど、

町全体に活気がなくなっている現状にあります。

しかし、本町は豊富な観光資源を保有しており、これを有効に活用していくことが、町を活性化させていく上で非常に重要な要素であります。

今年四月にオープンする太宰治記念館「斜陽館」をメインとして、観光客誘致のための施設等を整備し、地場産品の研究・開発を図りながら、農業の振興や商工業の活性化に連動させた取り組みを推進して行きたいと考えております。

また、高齢化社会に即応した福祉対策、教育環境の充実や生活環境の整備等についても、重要課題として取り組んで行かなければなりません。

国の補助金や地方交付税の削減が言われており、我々地方自治体の財政においても、今後さらに厳しさを増すことが予測されますが、最善を尽くして行く所存でありますので、町民の皆様の一層の御支援と御理解をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



町長 鳴海 義男

## 今年 は 寅 年

今年（とと）は寅年（とら）です。虎は干支（えと）の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリー（ロシアと中国の国境地帯）、中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野生の虎はいません。

日本の文献に初めて虎が登場したのは『日本書紀』で、欽明天皇の六年（五四五年）に、百済で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本に来たのは寛平二年（八九〇年）といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸・大坂（大阪）などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。だれでも知っている「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものということ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」とも、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ（虎の住んでいる穴に入らなければ）成功は得られないということです。「虎刈り」は、丸刈りがはやらなくなったので、最近あまり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。また、虎は強いもの、恐ろしいものたえにもよく使われます。「虎視眈眈」「虎の威をかる狐」「虎の尾を踏む」「虎は千里往つ

# 町議会を代表して 謹んで新春のお喜びを申し上げます

新年明けましておめでと  
うございます。

明るい希望に満ちた新春を  
迎え、町議会を代表し町民の  
皆様に心からお喜びを申し上  
げます。



町議会議長  
白川 豊 則

昨年、九月定例議会にお  
いて町の任意団体からの寄付  
に端を発した問題により、町  
長の突然の辞職という異常事  
態になり、町長選挙が行われ、  
新町長が誕生したわけですが、

議会といたしましてはすべて  
賛成・反対ということなく、  
今後とも是非々の立場で議会  
としての機能を果たしていき  
たいと思っております。

町の現状を顧みるとき、一  
般質問でも取り上げていると  
おり、財源確保について経常  
経費の節減等行財政改革を提  
言しているところであります。  
本年も町民の皆様のご意見  
を拝聴しながら、引き続き教  
育、福祉、生活関連施設等山  
積する諸問題を、厳しい財政  
事情を勘案しつつ慎重審議の  
うえ、議決機関として皆様方  
の負託に応え、町発展に尽力  
する決意でありますので、町  
民の皆様のご協力、ご理解を  
賜りたいと思う次第でありま  
す。

- |     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 副議長 | 桑田 茂  | 議員 | 小田桐喜吉 |
| 議員  | 川口 隆  | 議員 | 対馬 兼正 |
| 議員  | 原田 寛  | 議員 | 古川 哲雄 |
| 議員  | 中谷 秀八 | 議員 | 吉崎 正光 |
| 議員  | 加藤 磐  | 議員 | 伊藤 清慈 |
| 議員  | 野宮 一穂 | 議員 | 沢田 茂  |
| 議員  | 三潟 春樹 |    |       |

新しい年を迎え、新町長の  
行政手腕に期待するとともに、  
皆様方のご健勝とご多幸を心  
から祈念いたしまして、新年  
のごあいさついたします。

て千里還る」虎は飢えても死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など、枚挙にいとまがありません。ただし、酔っ払いの大トラはいただけません。

ところで、今年の年賀切手の意匠の題材は、福島県の郷土玩具「三春張り子の虎」です。これは、郡山市にある通称「デコ屋敷」で作られている張り子の玩具です。デコというのは、木偶のことで、木彫りのデコに紙を張って張り子を作ります。職人さんの仕事場が集まっているのがデコ屋敷で、ここで作られている「三春駒」も、昭和二十九年の第一回の年賀切手に採用されました。

三春張り子の虎は「腰高虎」といって、腰を高く上げて威嚇している威勢のいい姿が特徴です。でも、見たところ、とてもかわいい感じの虎です。製作者の一人はこう話しています。

「このデコは江戸時代のものが残っていて、新しいものもその形を踏襲しています。江戸時代には虎を見た人はほとんどいなかったたので、猫がモデルになったのかもしれない。」

いずれにしても、昨年は明るい話題の少ない年でした。今年は虎のように、威勢よく頑張りたいものです。





# 1997年 あれこれ!



## 「金木桜まつり in 芦野公園」

例年がない好天に恵まれ、大勢の人が足を運び、各種のイベントを楽しみました。



## 「海津おんなの地吹雪旅情」

昨年で区切りの10周年を迎えた地吹雪ツアーを岐阜県海津町の農協婦人部35人が体験。津軽の冬を堪能しました。



## 「新嘗祭献穀米御田植祭」

川倉の中谷肇さんが、当町では42年ぶりに秋の新嘗祭で新米を天皇家に献上しました。



## 「町民スキー大会」

町営嘉瀬スキー場で、ジャンプ、回転、距離、リレーの各競技に熱戦を繰り広げました。



## 「桜桃忌」

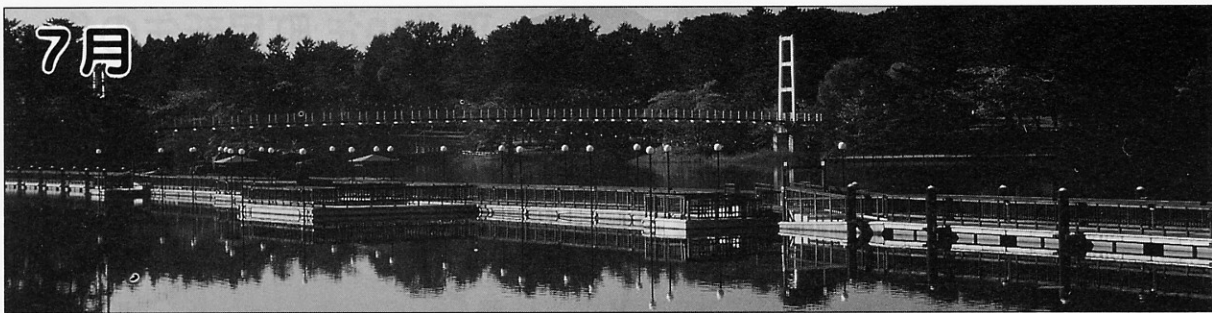
毎年行われている桜桃忌も、今年は節目の半世紀。4月の斜陽館オープンで太宰ブームの予感。



## 「一般廃棄物最終処分場が完成」

総額約7億6千3百万円を投じて完成した施設。大切に使い、これからもゴミの減量化にご協力を。





7月

「芦野夢の浮橋開通」

全長265mで県内で初、全国では2番目に長い浮橋です。橋を渡れば、名前のように夢がかなうかも。



9月

「名誉町民に伊藤忠吉氏」  
故郷を愛し、町発展のために七千万円もの寄付。健康に気をつけ、ますますご活躍くださるよう。



8月

「吉幾三 一人コンサート」  
芸能生活二十五周年を迎えた吉さんが、長年の夢だった地元でのコンサートを実現。歌に酔いしれたが、本当に寒かった。



10月

「森林鉄道を復元」

明治、大正、昭和と木材輸送や客車として利用された鉄道。実に30年ぶりに雄姿を披露。



12月

「サンタ・フェスティバル」

「子供たちに夢を」。今年は何をサンタさんからもらったかな。700人の親子が大集合。



祝111周年 学校創立120周年記念式典

「嘉瀬小学校が百二十周年」  
地域住民に支えられ、肌で感じる歳月の長さ。先祖代々受け継がれた「奴踊り」は、今も健在。

## 平成10年 町民新年の集い



▶乾杯で今年の飛躍を誓う

平成十年の「町民新年の集い」が一月六日、中央公民館で開催され、各界代表者や一般町民ら約二百名が出席しました。

開会後、参加者全員で君が代と一月一日を斉唱。引き続き鳴海町長が「農業振興や商店街の活性化を図りつつ、他町村に遅れることなく自信と誇りのもてる町づくりを目指し、しっかりとした町政の働きを取っていきます。今年は、

町にとっても皆さんにとっても良い年でありますように」と年頭のあいさつを述べ、今

誠康県議会議員、白川豊則町議会議長、原田一實小田川土地改良区理事長、伊與部豊警察署長、村尾慎一郎営林署長が各分野、立場からそれぞれの年頭の抱負を述べました。この後、福山初枝・町連合婦人会長の音頭で万歳三唱して、町の一層の発展と飛躍を誓い合いました。

## 合同厄払い



▶神妙な面持ちで厄払い

今年大厄を迎えた男女が一月四日、中央公民館において「合同厄払い」を行い、一年間の降りかかる厄難を払い落とししました。

厄年は、数え年で男性が二十五歳・四十二歳・六十歳、女性は十九歳・三十三歳となりますが、特に大厄に当たる男性四十二歳と女性三十三歳は、人生の中で最も災いに遭う恐れが多いことから言動を慎むようにとされています。

今年、昭和三十二年四月二日、昭和三十三年四月一日生まれの男性と昭和四十一年四月二日、昭和四十二年四月

一日生まれまでの女性が対象となり、合計八十三名が参加しました。

式では、お払いを受けた後、一人ひとりの名前が記された祝詞を神主が奉上、代表者が玉串を奉典して厳肅な中、神事がとり行われました。式後、祝宴に入り、野呂賢一実行委員代表が「この厄払いを機会に、今後ますます活躍していきましよう」とあいさつ。来賓として出席した鳴海町長が「これからの二十一世紀は、皆さんが柱となって各分野で頑張ってください」と激励しました。

## 地域を支える 介護講演会開催

十二月十一日、中央公民館で「地域を支える介護講演会」が開かれ、三百五十人余りが受講しました。

この講演会は、地域住民に對して介護に必要な知識及び技能を習得してもらい、家庭での介護に生かすとともに、地域に密着した福祉マンパワーの発掘と育成をすすめるために行われたものです。

始めに、長内金木郵便局長、角田正男社会福祉協議会長があいさつした後、講演に入り、福祉用具選定相談員の木村純さんから要介護老人、身体に障害を持っている老人等が日



▲多くを学んだ講演会

常、健常者と同様に生活するために必要な介護機器、ポータブルトイレ(移動式トイレ)や歩行用具などの使用方法について説明がありました。

午後には、「地域を支える介護」と題し、長崎純心大学教授の一番ヶ瀬康子さんの講演が行われ、その中で、老後を元気で健康を維持するのに大切なのは「食事」「体を動かすこと(スポーツ)」そして、生きていることを喜びと感じる「生きがい」である、と訴えていました。また、老人の方を在宅介護するには、家中での事故を防ぐために「住居の改築」や家族と老人が共倒れしないための「ホームヘルパーの確保」、医療関係では「訪問介護制度」が必要であると話され、最後にポケ防止対策としては、地域のまつりや運動会などに招待して交流を図ってほしいと話し、聴衆の皆さんは熱心に聞き入っていました。

# 第十二回 町民俳句大会 ー 入選作品集 ー

## 一般の部

◆追伸は

妻に書かせり

秋燈火

高橋けん一

◆茸どっと

置いて大きな

土ふまず

松川 青雅

◆下校児の

廻しつつ来る

猫じゃらし

長内 艸骨

◆金箔酒

吾に敬老の日

なかりけり

一戸 耕雨

◆しばられて

軒に燃えたつ

唐辛子

野宮 素外

◆出棺の

釘打つ音や

秋澄めり

山本 れい

◆秋の風

如洋の馬が

馳けて来る

葛西 幸子

◆秋高し

郵便局の

貸眼鏡

村田ひでお

◆人文字を

鳶も俯瞰し

秋晴るる

沢田 一步

◆ご先祖に

見せたし今乗る

稲刈り機

斉藤 節村

◆故郷は

来て去るところ

盆の月

北川せつ女

◆賑やかも

寂しく聞こゆ

虫の声

岩田 重美

◆鮎釣りの

水より冷えて

水に居り

沢田 麗子

## 学生の部

◆風がふき

いなほぶつかり

ごあいさつ

◆其田和可菜 (川小四年)

◆くものすに

雨がかかって

にじ色に

◆今 香織 (喜小六年)

◆コスモスの

花がいつぱい

仲間いつぱい

◆古川有希子 (喜小六年)

◆いがの中

三つ子のくりが

ねむってる

◆加藤あゆみ (喜小五年)

◆帰り道

トンボがわたしを

呼びにくる

◆今 未来 (喜小六年)

◆コスモスト

つなひきをする

秋の風

◆泉谷 愛美 (川小四年)

◆ハムスター

ひまわりのたね

むいて食う

◆古川 博喜 (喜小二年)

◆たくさんの

トンボが私を

かこんでる

◆工藤 倫子 (川小六年)

◆たけのこが

いっぽんとがって

おうちみたい

◆柏谷 公平 (喜小一年)

◆ひまわりの

明るさ今は

種だけに

◆西村麻依子 (喜小六年)

◆秋風は

ふしぎな音の

みなもとだ

◆今 裕一 (喜小五年)

◆オニヤンマ

くるくるまわる

たいくかん

◆今 利仁 (喜小二年)

◆雨ががり

シャワーを楽しむ

かたつむり

◆阿保奈津子 (川小三年)

◆秋の空

真っ赤に燃える

火花だね

◆葛西加奈子 (喜小五年)

◆すずしいな

ぼくのせなかを

風がおす

◆齊藤 雅人 (喜小五年)

◆なつやすみ

さしやのなかから

うみとやま

◆田村 直也 (喜小一年)

◆夕ぐれも

秋が来たこと

教えてる

◆岡田 大輔 (喜小五年)

◆コスモスは

かせといっしょに

あそんでる

◆白川 慶哉 (川小四年)

◆道の回りに

コスモスたくさん

さいてきた

◆伊丸岡千穂 (喜小四年)

◆わあいたい

背中ひりひり

夏休み

◆須藤 大輔 (喜小六年)

◆十五夜に

まんじゅう一つ

うかんでる

◆古川野登香 (喜小六年)

◆にぎやかに

稲をかり取る

コンバイン

◆竹内 千敬 (川小六年)



# ♥かなぎ公民館 ブライダル情報♥

この度めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行)事務局「金木町中央公民館」によりカップルと  
なられた方々をご紹介します。

## HAPPY Wedding



1997.12.27 新郎 小林正樹さん(金木)  
新婦 木村真紀さん(中柏木)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。(☎53-35801)

また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの記念品等々たくさんの特典があります。

# 雨にも負けず 風にも負けず

— 働く少年を励ます会 —



▲頑張る新聞配達少年たち

新聞配達などをしながら頑張っている少年を激励する、第十一回「働く少年を励ます会」

「会」が十二月二十六日に役場で開かれ、金木中・金木南中の生徒十七人(該当者二十九人)が出席して行われました。始めに、沢田茂・働く少年のための基金運営委員会々長が「皆さんが将来、立派な金木町民となるようにと始めた会です。風邪をひかず、事故に遭わないようにして下さい」と、また鳴海町長も「雨の日も風の日も頑張っている皆さんは、お金では買えない貴重な財産を養っています。体につけて頑張ってください」

と、それぞれあいさつを述べた後、成田教育長が「寒くなると朝起きるのが大変でしょうが、さわやかなあいさつでこれからも頑張ってください」と生徒たちを激励しました。最後に、車力村在住の野宮二男さんによる講演が行われ、津軽弁にまつわる話などをユーモラスに語り、肩に力が入り緊張していた生徒たちもリラックスできたのか笑い声が飛び交い暫しの間、楽しい講演に聞き入っていました。また、日頃の苦勞をねぎらうとともに、勉学にも励んでほしいと一人ひとりに図書券が贈られました。

## こくめねんきん



### 国民年金保険料は 社会保険料控除の 対象になります

「社会保険料控除」として全額所得から控除されます。

確定申告の時期が近づいてきました。

平成九年一月から十二月までの間に納められた保険料は、

分の保険料だけでなく、過去に未納になっていた保険料を納めた場合など、平成九年中

に納めた全部の額です。

世帯主の保険料だけでなく、家族の分として納めた保険料も控除の対象となりますので、忘れないようにして下さい。

☆平成九年の保険料額

定額保険料

● 一月〜三月

月額 一一, 三〇〇円

● 四月〜十二月

月額 一一, 八〇〇円

付加保険料 月額 四〇〇円

金木病院カルテ (145)

# 医療体制改定と病院

院長 伊藤 恭雄

昨年の四月と九月、二回にわたり診療報酬の改定が行われました。特に九月の改定で医療費の自己負担が患者さんにもよりますが、今までと同じ診療を受けながら二倍以上になった方もおられるでしょう。

国民の総医療費は現在、年に一兆二千億円づつ増え続け総計では二十七兆円とか、想像もつかない金額です。これを賄っているのが各種保険と国の支出、それに患者さんの自己負担です。この国の負担分と保険分がパンク状態になったものだから、一部を患者さんに負担して貰いたい、と言うことで色々の改定が行われ、またこれからも数々の案が考えられております。皆さん新聞等でご覧の通りであります。これらの改定は、患者さんだけに負担を求めている

のではありません。医療機関へも様々な形で規制が来ております。例えば、年配の方は一人でも多くの疾患をお持ちです。心臓血圧に腎腹部、それぞれに対処するとお薬は八種、十種となります。二、三種の薬で全てに対応出来る薬が無い現状では、どう絞っても八種以上になる場合があります。(湿布なども含めて) 八種以上の薬を処方すると医療機関は薬代を一割カットされます。「薬漬け」ではありません。良かれと処方したことへのペナルティー? であります。かといってこの患者さんにある種の薬を減らすと、どうなるのでしょうか。病院は損しなくとも患者さんは? 医療を経済、モノでみていくとこうなるのです。この様な現況にあつて患者さんに、病院はどう対処すれば

良いのでしょうか。いわゆる乱診乱療はもとより、あらゆる無駄を省くことは従来も心がけ、今後も十分に心していくのは当然のこととして、病院、特に自治体病院には、医療、保健、福祉の三点を地域にあつて全うする使命があります。患者さんの医療費負担が増えたとはいえず、この三点の使命を変えないことにはありません。出来ないことです。「医療費が上がりますので手術はこの辺でやめましょう」などは絶対に出来ないことです。今回の診療報酬の改定には患者さんのことを考えれば、病院側も戸惑っているのが現状です。今回の医療費改定により患者さんのコスト意識が変わったと言われております。安価のうちはともかく、実費負担増となると「何故?」と思うようになります。ここに病院の新たな展開も必要になってきます。経済的制度和心の問題、両面を持つ人間関係は医療以外のあらゆる職種にも以前からあることですが、今回

## 清久ため池に野鳥観察所完成



嘉瀬・清久ため池に野鳥観察所が整備されました。数年前から白鳥などが飛来しているため、野鳥に親しんでもらおうと、県営ため池整備事業(護岸工)の一環として設置(県道側にも階段及び駐車帯)されたものです。

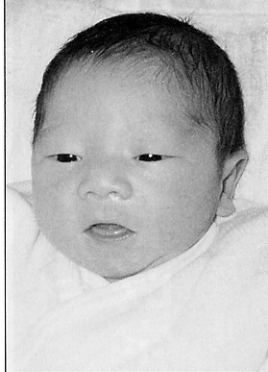
雪溶けとともに訪れる冬の使者の餌付けや観察に利用してください。

の改定は急な形で、経済面が突出して医療界に現われたとみております。患者さんと病院側両者に戸惑いが生じたのは当然のことでありましょう。モノなら多少我慢すればなんとか凌げるでしょうが、健康とか凌げると我慢が後々大問題となると我慢が後々大問題となるのが多々あるのです。この様な中、病院のとりべき態度は、先に述べた病院の使命を全うするために、やはり納得のいく、納得していただけ医療を行う以外にありません。勿論、制度面で発言すべき方面へは発言してゆきま

すが、患者さんと病院の関係は「信頼」の一言につきるものであります。我々もこれを肝に銘じております。目まぐるしく変わる医療制度の中で「頼りになる病院」を目指し、更に更に全職員が努めてゆく覚悟でおります。

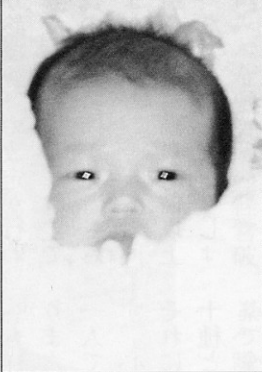
本年も皆さんとともに健康について、人間生活について一緒に考えていこうではありませんか。病院に限らず、地域の各施設を、そして地域の人々を育てるのはやはり地域の人々ですすから。

## はじめまして



優貴 (ゆうき)

思いやりのある優しい子に育ってほしい(父 伊藤一より)



有姫 (ゆめ)

優しい子になってほしい(母 米塚有夏より)

## あなたの善意ありがとうございました

(敬称略)

- ▼嘉瀬老人福祉センターへ
- 金木ライオンズクラブ (会長=田中良治)
- 電動マッサージ機 1台
- テレビデオ 1台



▲町長が田中会長へ感謝状を贈呈

- ▼子供たちのために
- 琴青照 (会長=白川セツ) 20,000円
- ▼社会福祉協議会へ
- 五所川原ヤクルト親交会 福祉ヤクルト益金の一部 8,000円
- 泉谷竹彦 (湯の川) 福祉のために 10,000円
- 金木ショッピングセンターノア 従業員一同 (社長=秋元和雄) 福祉のために 93,349円

## つがる弁 クイズ

このクイズは若い人の知らない、聞いたことの無い津軽弁を楽しく、再発見してもらうと問題にしたものです。

Q.「ネゴサカチャガイダ」

を標準語の会話に直して下さい。

正解者の中から抽選で3名様に素敵な記念品を差し上げます。どんどん応募して下さい。

応募方法

ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ

- ①クイズの答 ②今月号のよかった記事
- ③つまらなかった記事 ④ご意見・ご感想 を記入し、〒037-02 金木町大字金木字朝日山323 金木町役場企画室

までご応募下さい。

応募の締切は2月6日当日消印有効。当選者の発表は2月号に掲載します。

12月号は「お年玉をあげるおじいちゃんとおばあちゃん。または(お父さんとお母さん)」でした。

当選者は次の3名です。

- 嘉瀬 浜田 司 都 さん
- 金木 秋元 健二 さん
- 金木 木工 藤勇 さん

たくさんのご応募、貴重なご意見有難うございます。今回当選しなかった方もこれにめげずどしどしご応募下さい。

## 戸籍

### 籍

### の

### 窓

## 十二月届出分

### おめでとう

伊藤 優貴 (一) 金木  
米塚 有姫 (隆) 金木

### おしあわせに

三上 聡 (清則) 金木  
坂本 竹子 (武則) 車力村  
白川 裕治 (庄治) 川倉  
齋藤 美 (金義) 中里町  
原 友和 (治道) 青森市  
太田由里子 (藤四郎) 金木  
古川 幸道 (百合子) 金木  
守重 久恵 (久男) 山梨県  
今 正幸 (正博) 喜良市  
太田 夏美 (佐内) 今別町  
加藤 浩 (長次郎) 大間町  
角田 智子 (民雄) 金木

### おくやみ

田中 忠榮 (58才) 喜良市  
對馬 行秀 (55才) 金木  
松橋 光義 (75才) 金木  
櫻井 辰雄 (80才) 川倉  
其田 良一 (75才) 川倉  
小山内美津留 (48才) 金木  
今 玉蔵 (86才) 喜良市  
小笠原きよ (79才) 金木

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載していただきます。掲載を希望しない方は町民課窓口に届出の際申し出てください。

## 人口と世帯

	12月末現在	前年同月比
男	5,882人	△ 45人
女	6,464人	△ 78人
計	12,346人	△ 123人
世帯数	3,932	14

## 伝言板

◎届いています  
十二月二十二日  
金木駅前路上  
《キーホルダー付の家のカギ》  
心当たりの方は、金木警察署  
落し物係まで。  
◎係から  
このコーナーを利用したい方は役場企画室まで。

### 訂正とお詫び

広報かなぎ十二月号に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。  
▼十ページ(戸籍)  
〔正〕竹内 官(武六)  
〔誤〕竹内 官(竹六)